

講座名 在宅医療学講座

代表者	特任教授	山中 崇
構成員	特任講師	大河内二郎
	特任助教	木棚 究、浜田将太
	特任研究員	片山成仁、水木麻衣子、引地功一、伊藤辰也

【 講座概要 】

都市部を中心に外来通院が困難な高齢者が急増する日本において、地域包括ケアシステムの構築は国家的課題である。この地域包括ケアシステムで不可欠な要素である在宅医療に関するエビデンスは乏しい。今後、在宅医療に関する研究を推進し、全国の研究を牽引しながら学問体系化を図り、教育、普及していくことが求められている。

本寄付講座では、在宅医療を行う医療機関ならびに厚生労働省が設置している全国在宅医療会議、およびその主力メンバーである日本在宅ケアアライアンスのアカデミックグループ、在宅医療に関係する学術団体と密に連携しながら在宅医療のエビデンスを構築し、在宅医療の学問体系化を図る。

【 研究内容 】

在宅医療の現状と課題を明らかにし、これらを解決するための研究に取り組む。

- 在宅医療の状況と課題を把握するため、在宅医療を受ける患者を対象とする症例レジストリ研究を実施する。
- 在宅医療における薬物療法の安全性に関する研究を行う。
- 災害時における在宅療養患者の安全確保に関する研究を行う。
- 在宅医療に関する卒前・卒後教育を継続して実習の効果を検証して、より効果的な教育プログラムを作成する。
- 在宅医療、高齢者施設向けソフトウェア開発を行う

【 今後の展望 】

遠隔医療技術、AIおよびロボット介護技術等の研究に取り組み、在宅医療のイノベーションを推進して、在宅医療の新たなあり方を提案する。医学部医学科「地域医療学実習（必修）」の教育を継続し、在宅医療分野における教育モデルの構築を目指す。

【令和5年度活動実績】

<論文・著書>

■ 和文論文

1. 木棚 究. 【在宅医療におけるプレジジョンメディシン】 [4] 認知症、フレイルの在宅医療. Precision Medicine 2023;6 (9):708-711.
2. 木棚 究、山賀亮之介. 在宅医療における認知症患者の問題点と対処法. 日老医誌

■ 英文論文

1. Hamada S, Sasaki Y, Son BK, Tanaka T, Lyu W, Tsuchiya-Ito R, Kitamura S, Dregan A, Hotopf M, Iwagami M, Iijima K. Association of coexistence of frailty and depressive symptoms with mortality in community-dwelling older adults: Kashiwa Cohort Study. *Arch Gerontol Geriatr*. 2024;119:105322.
2. Liao SJ, Zhao M, Hamada S, Gutiérrez-Valencia M, Jadczyk AD, Li L, Martínez-Velilla N, Sakata N, Fu P, Visvanathan R, Lalic S, Roncal-Belzunce V, Bell JS. Deprescribing Opportunities for Frail Residents of Nursing Homes: A Multicenter Study in Australia, China, Japan, and Spain. *J Am Med Dir Assoc*. 2024 Feb 26:S1525–8610(24)00071–9.
3. Taguchi R, Hamada S, Michihata N, Tsuchiya-Ito R, Kitamura S, Ishikawa T, Iwagami M. Factors associated with the introduction of visiting-pharmacist services in older adults in Japan: A nested case-control study. *Geriatr Gerontol Int*. 2024 Feb 21. doi: 10.1111/ggi.14838.
4. Hamada S, Iwagami M. Response to Letter to the Editor: Impact of Comorbidities on the Risk of Polypharmacy and Potentially Inappropriate Medications in Older Patients. *J Gen Intern Med*. 2024 Jan 22. doi: 10.1007/s11606-024-08632-x.
5. Dowd LA, Hamada S, Hattori Y, Veal FC, Taguchi R, Sakata N, Jadczyk AD, Visvanathan R, Koujiya E, Rajan M, Doube S, Suzuki A, Bernoth M, Rawson H, Maruoka H, Wood A, Wagner J, Hull DA, Katsuhisa M, Turner J, Liao SJ, Reeve E, Bell JS, Cross AJ. A mixed-methods study on the pharmacological management of pain in Australian and Japanese nursing homes. *Age Ageing*. 2024;53(2):afae024.
6. Kazawa K, Maeda-Sawada W, Shizukuishi E, Hamada S, Kobayashi M, Okochi J, Ishii S. Changing trends in health orientation among older adults: A scoping review. *Geriatr Gerontol Int*. 2024;24(1):5–17.
7. Hamada S, Iwagami M, Sakata N, Hattori Y, Kidana K, Ishizaki T, Tamiya N, Akishita M, Yamanaka T. Changes in Polypharmacy and Potentially Inappropriate Medications in Homebound Older Adults in Japan, 2015–2019: a Nationwide Study. *J Gen Intern Med*. 2023;38(16):3517–3525.
8. Liao SJ, Hamada S, Jadczyk AD, Sakata N, Lalic S, Tsuchiya-Ito R, Taguchi R, Visvanathan R, Bell JS. Symptomatic and preventive medication use according to age and frailty in Australian and Japanese nursing homes. *Aging Clin Exp Res*. 2023;35(12):3047–3057.
9. Tsuchiya-Ito R, Hamada S, Iwagami M, Ninomiya A, Ishibashi T. Association of housing adaptation services with the prevention of care needs level deterioration for older adults with frailty in Japan: a retrospective cohort study. *BMC Health Serv Res*. 2023;23(1):916.
10. Maruoka H, Hamada S, Hattori Y, Arai K, Arimitsu K, Higashihara K, Saotome S, Kobayashi A, Watanabe N, Kurata N, Kishimoto K, Kojima T. Changes in chronic disease medications

after admission to a Geriatric Health Services Facility: A multi-center prospective cohort study. *Medicine (Baltimore)*. 2023;102(21):e33552.

11. Hirakawa Y, Muraya T, Yamanaka T, Hirahara S, Okochi J, Kuzuya M, Miura H. Total pain in advanced dementia: a quick literature review. *J Rural Med*. 2023;18(2):154-158.

■ 指針等

1. 山中 崇（作成委員）. 一般社団法人日本心不全学会、一般社団法人日本在宅医療連合学会編. 重症心不全患者への在宅静注強心薬持続投与指針 第1版. ライフサイエンス出版、2024.
2. 山中 崇（研究協力者）. 厚生労働科学研究費補助金（認知症政策研究事業）「併存疾患に注目した認知症重症化予防のための研究」研究班編. 認知症の併存疾患管理ガイドブック. 南山堂、2024.

<学会・講演会発表>

■ 国内学会

1. 木棚 究、野口寛太、山賀亮之介、藤井広子、小畑正孝、山中 崇、秋下雅弘. 在宅医療でのアルツハイマー型認知症治療薬中止に関する調査. 第65回日本老年医学会学術集会. 横浜、2023. 6. 16-18. *日老医誌* 2023;60(Supp I):194.
2. 山中 崇、水木麻衣子、木棚 究、山賀亮之介、浜田将太、秋下雅弘. 長期間の在宅療養が予測される高齢者の特徴 1施設におけるパイロット研究. 第65回日本老年医学会学術集会. 横浜、2023. 6. 16-18. *日老医誌* 2023;60(Supp I):200.
3. 服部ゆかり、小島太郎、濱谷広頌、山中 崇、秋下雅弘. 在宅医療を受ける高齢者の薬剤処方実態と要介護度別にみたpotentially inappropriate medicationとの関連についての研究. 第65回日本老年医学会学術集会. 横浜、2023. 6. 16-18. *日老医誌* 2023;60(Supp I):195-196.
4. 山中 崇. 心不全の在宅診療. 第65回日本老年医学会学術集会. 横浜、2023. 6. 16-6. 18. *日老医誌* 2023;60(Supp I):71.
5. 山中 崇. 地域包括ケアにおける在宅看護の役割と展開 地域包括ケアにおける在宅医療の役割と展開. 第33回日本老年学会総会. 横浜、2023. 6. 16-18. *日老医誌* 2023;60(Supp I):8.
6. 山中 崇. 在宅医療における臨床検査の実践と展望 在宅医療における臨床検査の役割. 第5回日本在宅医療連合学会大会. 新潟、2023. 6. 24-25. プログラム・講演抄録集 247.

■ 国際学会

1. Kidana K, Noguchi K, Yamaga R, Fujii H, Obata M, Yamanaka T, Akishita M. Discontinuation of Drugs for Alzheimer's Disease Among Patients Receiving Home Care Medicine. IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023. Yokohama, 2023. 6. 12-14.
2. Yamanaka T, Mizuki M, Kidana K, Yamaga R, Akishita M. Characteristics of older adults receiving long-term home visits: A pilot study at a clinic. IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023. Yokohama, 2023. 6. 12-14.
3. Hattori Y, Tsuji K, Kudo K, Yamauchi K, Miyake Y, Yamanaka T, Akishita M. Impact of a primary care organization on advance care planning and end of life. IAGG Asia/Oceania

Regional Congress 2023. Yokohama, 2023. 6. 12-14.

4. Yamanaka T. Home care medicine in Japan. Autumn meeting of Korean academy of family medicine. Gwangju, Republic of Korea, 2023. 9. 24.

■ 講演

1. 山中 崇. 在宅医療における非がん性呼吸器疾患・呼吸器症状の緩和ケア. 第16回老年薬学アップデート. Web, 2023. 7. 7.
2. 山中 崇. 地域医療における在宅医療の役割. 在宅で診る心疾患診療の実際～押さえておきたいポイント～. 高齢者薬物療法Webシンポジウム～在宅診療のココが知りたい～ Web, 2023. 9. 26.
3. 山中 崇. これからの日本の在宅医療. とやま在宅協議会. 富山, 2023. 3. 14.
4. 山中 崇. 要介護高齢者の家族による在宅リハビリ支援について. 毎日おうちで少しずつ！リハビリ支援シンポジウム～アプリで楽しく健康に～ 広島, 2023. 3. 19.

■ 研究助成

1. 文部科学省科学研究費助成事業 基盤研究C. 在宅医療を受ける患者の全国的な症例登録システム構築 (研究代表者: 山中 崇、分担研究者: 木棚 究、水木麻衣子) 2020. 4. 1-2025. 3. 31.
2. 文部科学省科学研究費助成事業 基盤研究C. 食形態決定のための居宅用流動性測定器の開発と誤嚥性肺炎予防プログラムの構築 (研究代表者: 伏見孝子、分担研究者: 山中 崇ほか) 2021. 4. 1-2024. 3. 31.
3. 厚生労働省科学研究費補助金 (認知症政策研究事業). 療養場所の違いに応じた認知症者のエンドオブライフケア充実に向けての調査研究—COVID-19流行の影響も踏まえて— (21GB1001) (研究代表者: 三浦久幸、分担研究者: 山中 崇ほか) 2021. 4. 1-2024. 3. 31.
4. 公益財団法人勇美記念財団 在宅医療助成. 重度アルツハイマー型認知症に対する抗認知症薬使用の実態調査 (研究代表者: 木棚 究) 2022. 4. 1-2024. 3. 31.
5. 文部科学省科学研究費助成事業 基盤研究B. 科学的介護情報システムを活用した長期ケア施設入居者の緊急入院予防ツールの開発 (研究代表者: 野口麻衣子、分担研究者: 山中 崇ほか) 2023. 4. 1-2026. 3. 31.
6. 厚生労働省科学研究費補助金 がん政策研究事業 (23EA1027). 患者・市民参画を推進しビッグデータを活用した高齢がん患者の在宅療養環境の実態と課題の把握、及び高齢がん患者のフォローアップ体制の構築に資する研究 (研究代表者: 藤森麻衣子、分担研究者: 山中 崇ほか) 2023. 4. 1-2026. 3. 31.

■ 教育活動

1. 医学部クリニカル・クラークシップⅡ期 地域医療学実習. 2023. 9-11. 2024. 1-3.
2. 山中 崇. 在宅医療のエビデンスと研究課題、大学院医学共通講義Ⅹ・生殖・発達・加齢医学専攻 (大学院講義)、2024. 2. 20.
3. 山中 崇. 在宅医療の質. 高齢者在宅長期ケア看護学特論Ⅰ. 2023. 4. 20.
4. 山中 崇. 在宅介護、在宅医療・在宅看取り. セグメント5 加齢と老化、臨終. 東京女子医

科大学. 2023. 6. 8.

5. 山中 崇. 在宅医療. 地域医療学各論4. 自治医科大学. 2023. 6. 30.
6. 山中 崇. 在宅医療の実践と研究. 総合診療・地域医療. 東京医科歯科大学. 2024. 2. 6.

■ 社会活動

1. 山中 崇. 高齢者医薬品適正使用検討会（厚生労働省）構成員
2. 山中 崇. 足立区地域包括ケアシステム推進会議委員（副会長）
3. 山中 崇. 足立区地域保健福祉推進協議会委員